

輝くゲーマーにフォーカスするeスポーツマガジン

# GAME STAR

Vol. **16**  
SEP.2017

FREE

日本の覇者となったチーム  
《Rampage》が世界へ挑戦する

ヴァッさんマルちゃんの  
ハースストーン食事会⑤

## 世界を魅了した男

オーバーウォッチ ワールドカップ2017日本代表Aktm選手インタビュー

世界のぷよぷよを見てみたい好奇心でラスベガスへ

プロぷよぷよプレイヤーRadical Stormerz所属 Tema選手インタビュー



## ゲーマーのゲーマーによるゲーマーの為のイベント集団!

Asobier (遊び家)は全ての「遊び」に纏わるコンテンツを発信する事をテーマに株式会社APRIL KNIGHTSの元、e-Sports・ボードゲーム・コンシューマーゲーム等ジャンルに拘らず配信・イベントを行うイベントクリエイター集団です。

e-Sportsに携わる著名人の方々へのインタビュー等の展開も考えております。今後の活動にご期待下さい!



は、仲間を探しています。

経験者未経験者問わず、これから世界を変えられるサービスを作りたい仲間をエイプリルナイツは探しています。とにかく面白いことをカタチにしたい方は弊社担当者までご連絡をお待ちしております!



WEBサービス  
企画運営



システム制作  
支援事業



e-Sports  
関連事業

【お問い合わせ先】採用/広報 担当者宛  
recruit@april-knights.jp



APRIL KNIGHTSは、e-Sportsの社会人リーグAfter 5 Gaming Vol.3にて2連覇を達成しました! 上の写真は活動の写真です。

# GAME STAR

輝くゲーマーにフォーカスするeスポーツマガジン

Vol. 16  
SEP.2017

Contents

## P4 世界を魅了した男

オーバーウォッチ ワールドカップ2017日本代表  
Aktm選手インタビュー



Cover  
Aktm

Cover Photo  
mizuuro

## P8 世界のぷよぷよを見てみたい 好奇心でラスベガスへ

プロぷよぷよプレイヤーRadical Stormerz所属  
Tema選手インタビュー

Editor in Chief  
mizuuro

Staff  
Axl, Hogeji, nachchicchi

Design  
ELEFANT inc.

Special Thanks  
株式会社ゲート  
株式会社エイプリルナイツ

P12 **COLUMN** ゲームの競技シーンにスポットを照らす 《第1回》

## 日本の覇者となったチーム《Rampage》が 世界へ挑戦する。

P14 ヴァッさんマルちゃんのハースストーン食事会⑤

編集記

ゲームスタに取って頂きまして、ありがとうございます。

今回は世界に挑戦しているプロゲーマー2名へインタビューを行わせていただきました。世界でスターになって帰ってきたAktmさん。海外コミュニティを盛り上げるために挑戦を続けるTemaさん。お二人とも理由は違えど、海外に挑戦する心意気は本当にすごいものでした。ぜひ、お読みください。

夏が終わり、涼しくなってきました。台風は大丈夫だったでしょうか。

わたくしは、現在人生の分岐点に立っているところでございます。上がることもあれば、下がることもある。人生、そして、オーバーウォッチのライバル・プレイに身染まるほど感じている最中でございます。引き続き、ゲームスタを宜しくお願いします。

★  
GAME  
STAR

WWW.GAMESTAR.TOKYO

※本誌掲載の写真、記事の無断転載および複写を禁じます。



オーバーウォッチ ワールドカップ2017日本代表 Aktm選手インタビュー

## 世界を魅了した男

日本代表エースアタッカー《Aktm選手》の名前を実況が《エエケエティィィエム!!!》と叫び、会場はプレイの一つ一つに釘付けになった。この日ほど会場に行かなかったことを後悔した日は無い。

対戦型アクションシューティング《オーバーウォッチ》には毎年ワールドカップが開催される。2017年7月23日に行われたシドニー予選で日本はスペイン・フィンランド・ベトナムという強豪国が名を連ねるグループDに配置された。スペイン代表にはHarryHook、フィンランド代表にはTaimouという韓国やアメリカのトップリーグで活躍するEnVyUSというチームに在籍するメンバーがいた。

しかし、日本代表は強豪国相手に対して評判を覆す快進撃で予選を1位通過した。

《Aktm選手》は、YouTubeで世界のトップスターたちと並んで動画にまとめられるなど、世界から注目されることとなった。今回の巻頭特集では、世界的スターとなった《Aktm選手》に話を伺いつつ、オーバーウォッチワールドカップ2017日本代表の軌跡を振り返ろうと思う。

### シドニー予選前まで日本の評価は低かった

—今回の日本代表は《USG Iridata》、《RPG-KINGDOM》、《Libalent Supreme》の3チームからそれぞれ選出されていますが、十分に練習することはできましたか？

各メンバーが所属しているチームが大会などに出場していたため、その兼ね合いもあって十分と言えるほどの練習はできませんでしたが、2週間近く1日2時間程度の練習をすることができました。

—日本代表メンバーは海外アナリストたちから情報の少なさから《ミステリアスチーム》という評価がされていましたよね。

それはシドニー予選のインタビューでも言われましたね。『君たちはOPCに出場していないよね。一人もそのメンバーがいないのは何故なの？』と聞かれたりしましたね。いきなり出てきたぞ？みたいな反応でしたね。

—シドニー会場での評価はどうでしたか？

応援されてはいる感があったんですが、やはり、ミステリアスと言われていることもあって「日本？ああ、頑張ってるね」みたいにちっちゃい子にがんばってね、というイ

メージの反応をされていました。強豪としては見られていなかったですね。

—シドニーの会場ではその場にいた他の代表と練習試合をしたと聞きました。手応えを感じていましたか？

日本で練習している時は韓国チームと練習試合をすることが多かったんですけど、やっぱり、NA、EUのチームは、韓国のチームと全然戦い方が違って、対応するのに凄い時間がかかってしまいました。

—具体的にはどこで練習試合を行いましたか？

同じグループではない、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、オーストラリアとやりましたね。スペイン戦が終わった後はスペインの選手たちから「やろうぜ」と言ってきたりとかもしました。結構声をかけられることが多かったんですけど、特にポルトガル代表から毎日のように「何時空いてる？」って聞かれましたね。

—日本代表というプレッシャーはありましたか？

ワールドカップは日本代表として行っているので、世界に圧倒的になれないような展開で終わっちゃうと、日本のみんなもがっかりするし、そこらへんで緊張感がありました。

でも、日本代表のメンバーも選りすぐりの精鋭たちでしたし、手が届く所まではいけたので、安心しました。

—凄く惜しい。画面の前で私は吼えてました…。

### 世界トップクラスのアタッカーと肩を並べ、スター選手へ

—日本は世界に通用するとおもいますか？

そうですね。全然通用すると思います。でも、やる気と忍耐が必要だと感じています(笑)

第一目標として国内優勝なんですけど、国内だけで満足してるようでは世界とは戦えないと思います。世界では10時間以上練習試合を行ったりとか、当たり前だと思ふんです。やっぱり、日本では環境や人口が整ってい



ない分、競争率が世界より劣ってると思うんです。じゃあどこで挽回するのか、っていう話なんですけど、同じ練習量こなしてるだけではダメで、どれだけ効率よくうまくいけるかを模索していかないといけません。そうでなければ、韓国には絶対勝てないですし、NA・EUにも多分、勝てないと思います。

——海外からの評価で韓国に近い国だからメタの研究や練習ができて他国より有利なのではないかと分析されていましたが、感じるころはありましたか？

それはありましたね。韓国のチームとスクリーンしていると、それが普通になるじゃないですか。相手が強いのが当たり前なので(笑)

そこまでチームとして出来上がってないところやると、ちょっとしたミス出やすく、そのおかげでラウンドを取れるんです。

人口的に厳しいところはありますが、有利っちゃ有利でしょうね。EUのチームは練習試合の相手がいらないので、チームによっては韓国に合宿行ったりしてるらしいですね。

——マップDORADOで魅せたスーパーブレイの時など、会場が沸くじゃないですか。ああいうのって感じるんですか？

感じますよ。めっちゃめっちゃ気持ちいいです。結構、大舞台だと「やったぞ！」ってなるタイプなんで、ああやって注目されて、追い詰められると逆にいいのかもしれないね(笑)  
二日目なんかはマクリーを出して「うおー！」って盛り上がってくれました。

——マクリー出しただけで「来たぞマクリー！」みたいな。実況もマクリーを写してくれってずっと言うんですよね。

プレーしてても笑ってしまいましたね。「なんで?!」みたいな(笑)

——私が嬉しかったのは、HarryHookとTaimou、Aktmの名前が並ぶ感じ。これが凄いい好きです。二人はどういう印象ですか？

HarryHookは、やってバケモンだなと思いましたね。本当に強くて！  
気分いたら味方バタバタ倒されていくんですよ。倒したプレイヤーの名前を確認したらだいたいHarryHookでした。タンクだったdearfnが「やばいやばい！溶ける溶ける！」って(笑)  
「やべえ、HarryHookを無理矢理にでも倒したほうがいいな」という考えに至って、トレーサーを使っていたTa1yo選手と合わせてマクリーで狙いに行きました。「HarryHookだけを倒しに行こう！」って(笑)

Taimouがいるフィンランド戦ですが、Taimouというチャンピオンに挑むチャレンジャーという気持ちで挑んでいました。Taimouがてっぺんにいて、俺がマクリーで挑む！みたいな気持ちです。最後のマップはTaimouが好き勝手ヒーロー出したりしてきて、その途端にきつくなって…「ああ、やっぱつええわ！」って感じましたね。

試合が終わった後、Taimouが抱きついてきて(笑)「よかったよ！」って言ってもらいました。

——交流はありましたか？

HarryHookとはあまりなかったんですけど、Taimouとは大会後のパーティの時に「お前、俺だけ狙ってきたらろ！」って突っ込まれました(笑)

日本のメンバーはプレーオフでオーストラリアに負けた後だったのでかなり落ち込んでたんですけど、Taimouが慰めてくれました。その時も「泣くなよ！」みたいな感じでハグしたり。みんな優しくかったですね。マジで温かいです。

——YouTubeに大会のハイライトシーンだけをまとめた動画で《HarryHook vs AKTM》や《Taimou vs AKTM》っていう動画が複数上がってるじゃないですか。日本の選手

がそこに並ぶのってすげえな！って思って観てました。

俺もびっくりですね。色々褒めて頂けるんで、凄いい良かったとは思んですけど、自分、完璧主義者というか、その時は「やったった！」って思うんですけど、後から見返すと「もっといい動きできた」と考え込んでしまうんですよ。満足しないんですよ。

## どこまでも満足しない、それが強さに繋がる

——まだ満足は出来てない？

たぶん、ずっと満足はできないです。APACで優勝とかしても自分は満足しないんだろうと思いますね。良い結果は残せましたが、ここで満足しちゃうとここで止まってしまうと思うんです。

これからの新しいUSG Iridataにも期待して欲しいです。メンバーの入れ替わりがあって新しくスタートします。

——インタビューは以上です、ありがとうございました。



### Aktm Profile

名前: Aktm (あきちめ)  
職業: プロゲーマー  
出身地: 大阪府  
誕生日: 1991年12月28日

#### 【大会出場履歴】

- 2009年 SuddenAttack Clan Tournament League 2009 優勝
- 2010年 SuddenAttack Official Master Tournament Season3 優勝
- 2010年 SuddenAttack Official Master Tournament Season4 優勝
- 2011年 SuddenAttack Clan Tournament League 2010-2011 優勝
- 2012年 SuddenAttack Official Master Tournament 2012 Spring 優勝
- 2012年 SuddenAttack Clan Tournament League 2012 優勝
- 2013年 SuddenAttack Official Master Tournament 2013 Spring 準優勝
- 2016年 Overwatch Championship Series final 準優勝
- 2017年 GeForce CUP: Overwatch 優勝
- 2017年 Overwatch World Cup 日本代表選出

プロぷよぷよプレイヤー Radical Stormerz所属 Tema選手インタビュー

# 世界のぷよぷよを見てみたい 好奇心でラスベガスへ

《Tema選手》は、ラスベガスで行われた《Evolution(通称 EVO)》のサイドトーナメント《AnimEVO》のぷよぷよテトリス ダブルスで《あめみや たいよう選手》とタッグを組んで優勝を果たした。

彼女は世界へ挑戦した理由を《ぷよぷよへの愛、コミュニティを支えたいという強い意志が足を運ばせた》と語った。

※《AnimEVO》とは、アメリカのラスベガスで開催される世界最大級の格闘ゲーム大会《EVO》の会場で開催されるサイドトーナメントが《AnimEVO》。《EVO》の種目に選ばれなかった格闘ゲームを中心として複数タイトルで開催される。

## Temaというプロゲーマーについて

——まずは、Tema選手のぷよぷよとの出会いから現在までを教えてください。

幼稚園のころ、5歳くらいにスーパーファミコンとぷよぷよを買ってもらって、そこからゲーム人生が始まりました。小学校の時にクラスで一番強かったんですけど、かえる積みしかしていませんでしたね(笑)

※かえる積みとは、ぷよぷよを最初に右側に寄せて積む方法のこと

その時は、ぷよぷよをクラスの友達とぐらいしかやったことがなかったです。



島根県で行われた「ごうつホビー祭り」に解説としてぷよぷよ大会に参加した際に表彰式でラスベガスのお土産を渡しているTema選手



——大会などにはいつ頃から出場しているんですか？

大会は中学校の時に一回だけ行ったことがあります。その時に「凄い強い！」って、衝撃を受けました。

ぷよぷよフィーバーオンラインがセガから発売されたんです。それで、普段から強い人と戦える環境がはじめて生まれたんです。

それからは、ものすごくがんばってプレイしていました。

ある時に大会に参加したら、200人くらいいる中で、18位に入ったんですね。

そうしたら、早稲田大学のぷよぷよサークルから「凄い強い女性がいると聞きました。ぜひうちのサークルに入ませんか」と声をかけられました。

「せっくなのでやろうかな」って思って、日本初のぷよぷよサークル《ぷよぷよ戦術技術開発研究所》に入りました。

ただ問題が一つあって、私は早稲田大学の学生じゃないんですよ。サークルに入るには問題なかったのですが、早稲田に入ったほうが便利だと思って、大学院で早稲田を受けたんですよ。これだけのために(笑)しかも、受かりました(笑)

——それはすごいエピソードですね(笑)

この頃から親の見方も変わって「ゲームが良い方に向いたぞ！娘がぷよぷよのために勉強に本気を出して早稲田

に受かった！」と理解を得られるようになりました。そこから親はマイルドになりましたね。

## 海外への挑戦について

——AnimEVOには何故行こうと思ったのでしょうか？

《そこに、ぷよぷよがあるから》ですかね。

ぷよぷよは国内に強いプレイヤーが多くて国内が主流ではあるんですけど、せっかくなので海外で大会が行われるんだったら盛り上げたいと思いましたし、EVOみたいな大きい大会でぷよぷよが種目として扱われるなら、世界のぷよぷよを見てみたいという好奇心で参加を

決めました。

自分たちが優勝したらどう変わるのかなっていうのを見てみたかったのがありますね。

「世界を獲ったらどう変わるんだろう」って。

人間的にも変わるのか、周りも変わるのか…知りたかったって言う気持ちもありました。

—Temaさんにとって、EVOはどんな場所でしたか？

夢と希望ですかね。言葉が浅いな！(笑)でも、言葉で片付けられないんですよ。

格闘ゲームのプロ志望の方も2,30万払ってラスベガス行って、ときどさんの様なプロゲーマーに憧れて優勝を目指すわけじゃないんですか。

ゲーム界のM-1グランプリに似ていますよね。M-1グランプリって優勝したら世界がガラッと変わるじゃないですか。芸人の人たちが全てを出し切るように、ゲーマーの人たちが全てを出し切る場所だと思っています。

—EVOの大会はいかがでしたか？

シングルスは7位で、ダブルスは優勝できました。

—ダブルスの勝因を教えてください。

勝因は…練習してたからだと思います。日々の練習の成果が出たのかと。

あと、ダブルスはまだルールが研究され尽くされていないので、ルールの研究を徹底して行いました。あめみや君は、以前レッドブル5Gっていうレッドブルのゲーム



Radical Stormers  
Tema Interview

## 世界のぷよぷよを見てみたい好奇心でラスベガスへ

プロぷよぷよプレイヤー  
Radical Stormerz所属 Tema  
選手インタビュー

イベントでダブルスに出場したことがあったので、私たちは他の参加者より知識のアドバンテージがありました。どうしたら勝てる立ち回りができるか、こういうのできるよな、とか共有しあってルール研究を行いました。

ただ実は、ダブルスは個人的に悔しいなと思うところがあった…。

自分の思う立ち回りができなかったんですね。組んだあめみやさんがテトリス最強と言われている非常に強い方だったので、もし優勝できなかったら私

のせいかなと重圧を感じてたんです。だから絶対に優勝しなきゃいけない。3本先取なんですけど、1本も落とさなくて、完全勝利を目指して思ってたんですよ。

その結果すごい臆病な立ち回りになってしまって、普段の自分の攻撃的なぷよぷよの立ち回りが全然出来ませんでした。いかに、自分が死なないか、自分が足手まといにならないかってことばかり考えてしまったんですよ。

結果的に一本も落とさず完全勝利を収められましたが、自分の中で思っている試合ができなかったって凄く落ち込んだんですね。

そのことを格闘ゲームのプロゲーマー、ふーどさんにお話したら、「大会は結果が大事だから。内容は普段気にすることだから」って言ってもらえて、すごく救われましたね。

次回もし組むことがあったら本来の自分の強さを活かしたいなって思うし、あめみやさんから「次回もTemaさんで」って言ってもらいたいです。

完全優勝したのにまだ課題はあります！(笑)

—海外最大規模の大会「EVO」のサイドトーナメント「AnimEVO」での優勝は自身の環境を変えましたか？

優勝してからはだいぶ環境は変わりましたね。今回のように取材のお話を頂いたり、スポンサーさんからいいお話いただいたり、本当に変わりましたね。

—周りの友達やご両親はいかがですか？

友達からおめでどうってメールが来ました(笑)ラスベガスに行くって時点で一般の友達は「優勝した！？えー！？」ってなりましたね(笑)

—今後の活動って具体的には…？

ぷよ講座などの動画を作りたいと思っています。eスポーツに貢献できる仕事があるので、そういう勉強をしたり今後も関わっていききたいと思います。

プロゲーマーって大会で強くないといけないと思うんですけど、ぷよぷよに関してはこれから海外に広めていかなければなりません。普及活動も大事だと思ってるんですね。

だとしたら広報的なところにもある程度割かないとダメ



上：ぷよぷよテトリスダブルスで優勝後、AnimEVOの会場にて、記念撮影  
右：ダブルスでタッグを組んだ《あめみや たいよう選手》と記念撮影



だと思うんですよ。

もともとすでにeスポーツとして成立している他のゲームと比べて成立していないので、ぷよぷよのプロとして、eスポーツの土台を作らないといけないと思っています。

—インタビューは以上です、ありがとうございました。



### Tema Profile

名前:Tema  
職業:eSports Team  
「Radical Stormerz」所属  
(Team GRAPHT)、日本初の女性バズルプロゲーマー

#### 【大会出場履歴】

- 2009年 早大ぷよマスターズぷよぷよ7大会 ベスト8
- 2009年 早大ぷよマスターズぷよぷよ通大会 18位
- 2010年 第1回Eスポーツ学生大会 1位
- 2012年 日本ぷよ連盟主催レディース大会 2位
- 2013年 第3回東大ぷよぷよ大会 予選突破
- 2015年 第7回エースをわらえ！ 初級部門 1位
- 2015年 ぷよ主催7 マスター部門 4位
- 2015年 第7回早大ぷよマスターズぷよぷよ通大会 ベスト8
- 2015年 第9回デイトナ杯 中級者大会 2位
- 2016年 ゲームクラブeスポーツMAX主催第2回ぷよぷよ大会 (TOKYO MX) ベスト8
- 2016年 デイトナ杯10th 中級者大会 3位
- 2016年 第8回早大ぷよマスターズ ぷよぷよ通大会 ベスト16
- 2016年 セガフェス SEGA公式「ぷよぷよ」プレイヤー最強決定戦 3位
- 2017年 ゲームクラブeスポーツMAX主催 オールナイトフェスティバル ぷよぷよテトリスS大会 ベスト8
- 2017年 ラスベガス大会 AnimEVO ぷよぷよテトリススワップ 7位タイ
- 2017年 ラスベガス大会 AnimEVO ぷよぷよテトリスダブルス 優勝

© 2017 Riot Games, Inc. All rights reserved

### 日本の覇者となったチーム《Rampage》が世界へ挑戦する。

2017年8月26日、幕張メッセの幕張イベントホールにて『League of Legends (リーグ・オブ・レジェンド)』の公式大会《League of Legends Japan League 2017 Summer Split (略称:LJL 2017 Summer Split)》の決勝戦が行われた。この決勝戦を観戦するために会場には4,000人を超えるファンが来場した。

この試合で《Rampage》が勝利、3連覇を果たし、世界

大会となる《2017 World Championship (略称: Worlds 2017)》への挑戦権を得た。

私も観戦しに行ったが、これが日本のeスポーツなのだと感じることができた。

会場は選手たちを囲う形で観客席が配置され、選手たちは4,000人以上のファンに見守れながら試合を行う。ファインプレーやオブジェクトの獲得時には選手たちに歓声



大会終了後の待ち続けた大勢のファンたちに応援の感謝を述べる《Rampage》のメンバーたち

と拍手が送られ、野球やサッカーのスポーツ観戦と同じような雰囲気を感じることができた。

決勝戦で試合を行った《Rampage》と《Detonation FocusMe》の両チームともにファンが多く、チームが出展するブースではファングッズが販売され、ファンたちはそれを求めてブースに集まっていた。大会後、《Rampage》のブースは記者会見が終わるのを待つファンたちでブースは溢れ、《Rampage》の選手たちが登場すると歓声と拍手が送られた。



ファンたちは握手とサインをもらうため、Dara選手の前に長蛇を作る

9月23日から始まる《Worlds 2017》は最初に《ブレイクインステージ》が行われ、その後シード権



を持った12チームとブレイクインステージで勝ちぬいた4チームで《グループステージ》が行われ、そして最後が《ノックアウトステージ》として準々決勝、準決勝、決勝が行われ、League of Legendsの世界一が決定する。

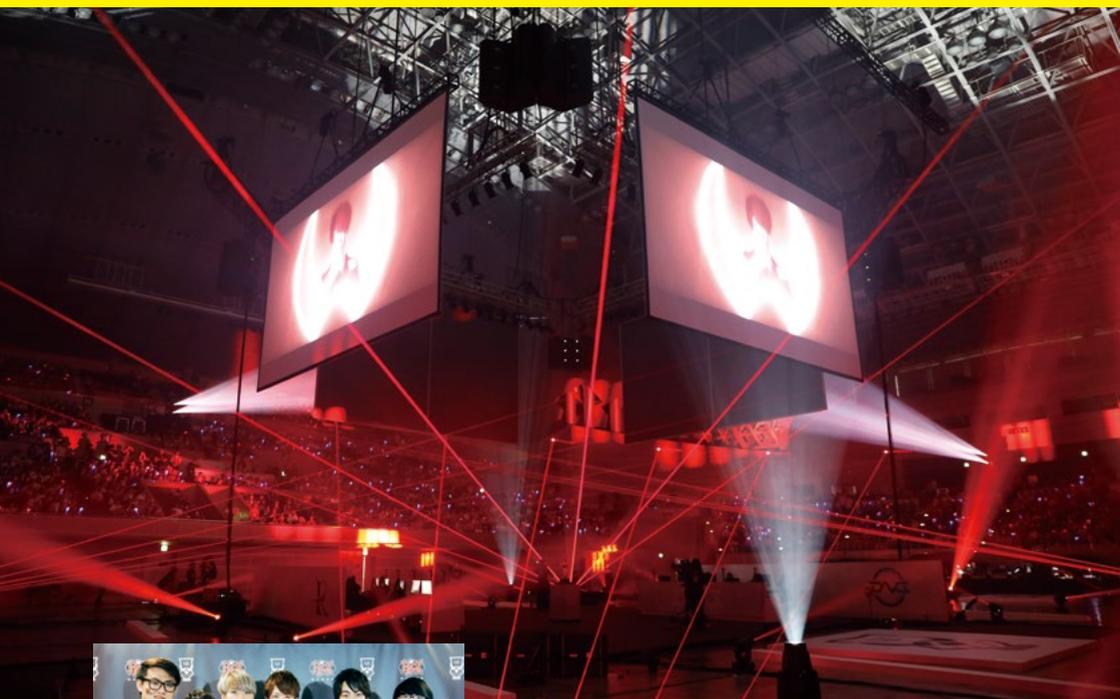
日本が参加する《ブレイクインステージ》は4つのグループに分けられ、日本はグループDに振り分けられ、台湾・香港・マカオ地域から《Hong Kong Attitude》、トルコから《1907 Fenerbahçe》の2チームと対決することとなる。この2チームについて簡単に紹介していこうと思う。

#### 《Hong Kong Attitude》

台湾拠点に活動する香港のプロチーム《Hong Kong Attitude》のSummer Split レギュラーシーズンの成績は8チーム中6位と、良い成績とはお世辞でも言えない。しかし、その後《Worlds 2017》出場をかって行われたRegionalsではレギュラーシーズン2位の《RAISE GAMING》に勝利し《Worlds 2017》への出場権を得ることとなった。今とても勢いのあるチームである。

#### 《1907 Fenerbahçe》

トルコで活動する2016年にできたばかりのプロチーム《1907 Fenerbahçe》は、Summer Splitのレギュラーシーズンでは1位、ブレイクインの準決勝・決勝をそのまま勝利し、負け知らずのまま《Worlds 2017》への切符を手に入れた。また、ライバル地域同士で行う国際大会《2017 Rift Rivals》では負け無しの成績で勝利を収めている。まさに強豪チームと言える。



4000人以上のファンが囲うように配置された会場で戦う選手たち



優勝した《Rampage》メンバー、左から Dara、Evi、Tussle、YutoriMoyasi、Ramune、コーチの34

### 《Worlds 2017》に出場する《Rampage》を応援しよう

《Rampage》は9月23～26日、9月28～29日に行われる《ブレイクインステージ》で試合を行う。勝ち進んだ後は10月5～8日、10月12～15日に行われる《グループステージ》へ進出する。さらにここを勝ち進めば10月19～22日、10月28～29日、11月4日に行われる《ノックアウトステージ》に進出することとなる。試合の様子はすべて日本語実況と共に配信される。

日時	試合開始時間	対戦相手
9/25 (月)	15:00-	Hong Kong Attitude
	19:00-	1907 Fenerbahçe Esport
9/26 (火)	14:00-	Hong Kong Attitude
	16:00-	1907 Fenerbahçe Esport

放送 URL : <https://www.twitch.tv/riotgamesjp>

# ヴァアッサンのマルちゃん ハースストーン食事会

by Hogei



お店情報  
 アグーリ by シャンゴ (駅ビルフードコート内)  
 群馬県高崎市八島町222 JR高崎駅東口1階 E'site 高崎内  
 027-395-0065  
 10:00 ~ 22:00  
 年中無休



ハースストーンとは?  
 about Hearthstone  
 スマホやPCで遊ぶことが出来る Blizzard Entertainment社のオンライン構築型カードゲーム。全世界で7000万人が遊んでいる。



*2017.10.7 SAT  
START*

[www.twitch.tv/playoverwatchjp](http://www.twitch.tv/playoverwatchjp)

© BLIZZARD ENTERTAINMENT, INC. ALL RIGHTS RESERVED